

# 消 防 年 報

平 成 18 年 版



蓮 田 市 消 防 本 部

(平 成 1 8 年 刊 行)

## は　じ　め　に

平素から消防防災体制の充実・強化につきましては、深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、関係各位のご協力により、安全で安心な市民生活の確保と消防行政サービスの要求が多岐にわたっているところですが、頻発する各種災害の複雑多様化、大規模化により市民からの防災に対する期待がますます増大しているところでございます。

この年報は、田市消防本部の現勢と消防諸般の基本的な統計を収録し、今後の参考に資するとともに消防事情を広く一般に紹介するため編集したものです。

この統計により、田市消防本部について一層のご理解を深められ防災体制確立に特段のご協力をお願い申し上げます。

平成18年10月

田 市 消 防 本 部

## 姿勢のあらまし

蓮田市は埼玉県東部に位置し、その総面積は27.27km<sup>2</sup>である。又、JR宇都宮線（東北本線）がおおむね南北に縦貫し、都心から約40km、鉄道で約40分という恵まれた交通条件から近年都市化の進展が著しい。

地形は、南北に長く東北部を流れる元荒川を境に菖蒲町及び白岡町に、西部は綾瀬川を境に桶川市・伊奈町及び上尾市に、東南部は、さいたま市にそれぞれ隣接し、綾瀬川とほぼ平行に利根川を水源とする見沼用水が流れている。

道路網を見れば南北に国道122号線が、又市の中央を県道さいたま・栗橋線が横断している。

昭和9年10月1日綾瀬村が町制を施行し蓮田町が発足し、昭和29年5月3日蓮田町・黒浜村・平野村の1町2村が合併して新たな蓮田町が発足となり、昭和31年1月1日岩槻市大字川島及び馬込の一部が編入し、昭和47年10月1日市制を施行し蓮田市となり、現在に至っている。

## 蓮田市章

中央に「ハ」「ス」「田」の文字、そのまわりにはすの花を図案化したものです。



市の花

## すいれん

初夏から初秋にかけて水面にひらく花の美しさはいうに及ばないものがあり、一瞬の暑さを忘れさせてくれます。昔から洋の東西を問わず伝説や物語にも幾度となく登場し、蓮田の地名の由来にも深いかかわりがあります。

すいれん（すいれん科）



市の木

## はなみずき

春には紅白のかれんな花をつけ秋にはみごとに紅葉します。樹性は強じんて土質を選ばず、しかも開花期が長く清らかで、その愛らしさは他に類をみず、伸びゆく蓮田市を象徴しています。

はなみずき（みずき科）



# 目 次

蓮田市消防の沿革	1
消防庁舎	3
人口推移	4
消防組織	5
消防水利配置状況	12
消防自動車配置状況	15
気象統計	17
平成 17 年中の火災概況	20
危険物類別施設	28
過去 10 年間の蓮田市の救急出動件数	30
救助活動状況	36
消 防 団	39

## 蓮田市消防の沿革（過去5年間）

昭和 39 年 1 月 昭和 29 年の町村合併以来純農村地帯であった当町にも年々都市化の波が押し寄せ人口が急激に増加した。  
又、工場・事業所の進出と自動車等の交通量の増加と共に危険物施設等が多くなり、常備消防の必要がせまられ、蓮田町上 2 丁目 1 番 14 号に蓮田町消防団常備部を設置する。部長に役場消防係、宮澤春雄氏が就任し、外 6 名の団員で業務を開始する。

（ 省 略 ）

平成 13 年 1 月 消防職員 1 名退職により実員 87 名となる。  
3 月 消防団第 2・第 3 分団詰所を解体処分し、上 2 丁目 3695 番地 10 に新築する。鉄骨 2 階建、102.06 m<sup>2</sup>  
4 月 消防団組織一部改正し 6 ヶ分団制となる。  
（株）セイコーアドバンスより連絡車（スズキワゴン R）を寄贈される。  
5 月 消防職員 1 名退職により実員 86 名となる。  
7 月 組織改革により署に主幹を置く。  
12 月 防火水槽（耐震性）40 m<sup>3</sup>級Ⅱ型 1 基（井沼 851 番地 9 井沼自治会館）設置する。

平成 14 年 2 月 資機材搬送車を更新する。（無線呼出名称：蓮田機材 1）  
消防本部・署庁舎の隣接地を購入し敷地を拡張する。  
3 月 第 5 分団消防ポンプ自動車を更新する。  
4 月 消防職員 1 名増員になり実員 87 名となる。  
第 21 回救急救命士国家試験に合格し、4 人目の救急救命士が誕生する。  
10 月 消防職員 1 名退職により実員 86 名となる。

平成 15 年 3 月 消防署南分署消防ポンプ自動車を更新する。  
消防団第 1 分団詰所を解体処分し、東 5 丁目 7 番地 2 号に新築する。  
鉄骨 2 階建、102.06 m<sup>2</sup>  
4 月 消防職員 1 名退職し、女性消防職員 1 名の増員により実員 85 名（消防吏員 84 名・事務吏員 1 名）となる。  
9 代目消防長に関根幸男氏が就任する。  
救急救命士国家試験に合格し、5 人目の救急救命士が誕生する。

11 月 消防署南分署水槽付消防ポンプ自動車を更新する。

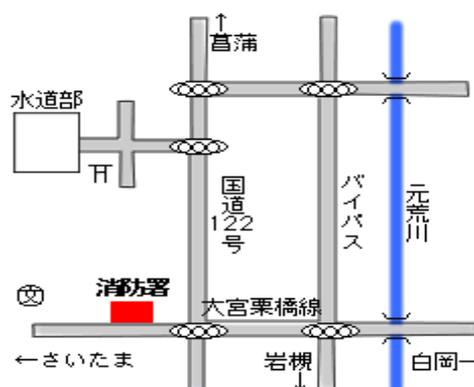
平成 16 年 2 月 消防署南分署高規格救急自動車を増車する。  
旧救急車は本署に引揚げる。  
3 月 消防職員 4 名が退職し、実員 81 名となる。  
消防職員 4 名（内女性消防職員 1 名）増員になり実員 85 名（消防吏員 84 名・事務吏員 1 名）となる。

救急救命士国家試験に合格し、6人目の救急救命士が誕生する。

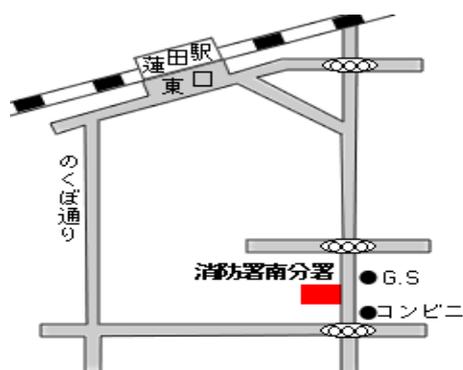
- 平成 17 年
- 8月 新消防庁舎が完成する。(敷地面積 5,042.18 m<sup>2</sup>・延床面積 1,787.28 m<sup>2</sup>・鉄筋コンクリート造 2 階建)
  - 3月 第 1 分団消防ポンプ自動車を更新する。  
消防団第 3 分団詰所を解体処分し、閩戸 3978 番地 8 号に新築する。  
鉄骨 2 階建、102.06 m<sup>2</sup>  
消防職員 3 名退職し実員 8 2 名となる。
  - 4月 消防職員 4 名の増員により実員 8 6 名(消防吏員 8 5 名・事務吏員 1 名)となる。  
1 0 代目消防長に高橋一郎氏が就任する。  
第 2 7 回救急救命士国家試験に合格し、7 人目の救急救命士が誕生する。
  - 8月 防火水槽(耐震性)4 0 m<sup>3</sup>級Ⅱ型 1 基(高虫 1703 番地 1 高虫自治会館内)設置する。
  - 1 0 月 防火水槽(耐震性)4 0 m<sup>3</sup>級Ⅱ型 1 基(閩戸 3126 番地 1 閩戸保育園内)設置する。
  - 1 1 月 第 2 回東部地域救急フェスタが蓮田市民体育館において開催される。
- 平成 18 年
- 3月 消防署化学消防ポンプ自動車を更新する。  
消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新する。  
消防団第 6 分団詰所を解体処分し、黒浜 1132 番地に新築する。鉄骨 2 階建、102.06 m<sup>2</sup>。  
消防団長篠崎邦明氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。

# 消防庁舎

名 称	蓮田市消防本部・消防署
所 在 地	〒349 - 0133 埼玉県蓮田市大字閨戸 178 - 1 Tel : 048 - 768 - 0119
建設年月日	平成16年7月7日
構造・階数	鉄筋コンクリート・2階建
建築面積	1,291.69㎡
延面積	1,787.28㎡
敷地面積	5042.18㎡



名 称	蓮田市消防署南分署
所 在 地	〒349 - 0114 埼玉県蓮田市大字馬込 1800 - 8 Tel : 048 - 769 - 4396
建設年月日	昭和54年3月31日
構造・階数	鉄筋コンクリート・2階建
建築面積	214.24㎡
延面積	439.72㎡
敷地面積	1029.74㎡



### ※人口の推移

年度 \ 区分	人口	男	女	世帯数
平成12年度	64,852	32,521	32,331	22,426
平成13年度	64,917	32,528	32,389	22,727
平成14年度	65,008	32,585	32,423	23,134
平成15年度	64,899	32,429	32,402	23,397
平成16年度	64,795	32,477	32,318	23,764
平成17年度	64,369	32,298	32,071	23,871
平成18年度	64,233	32,210	32,023	24,134

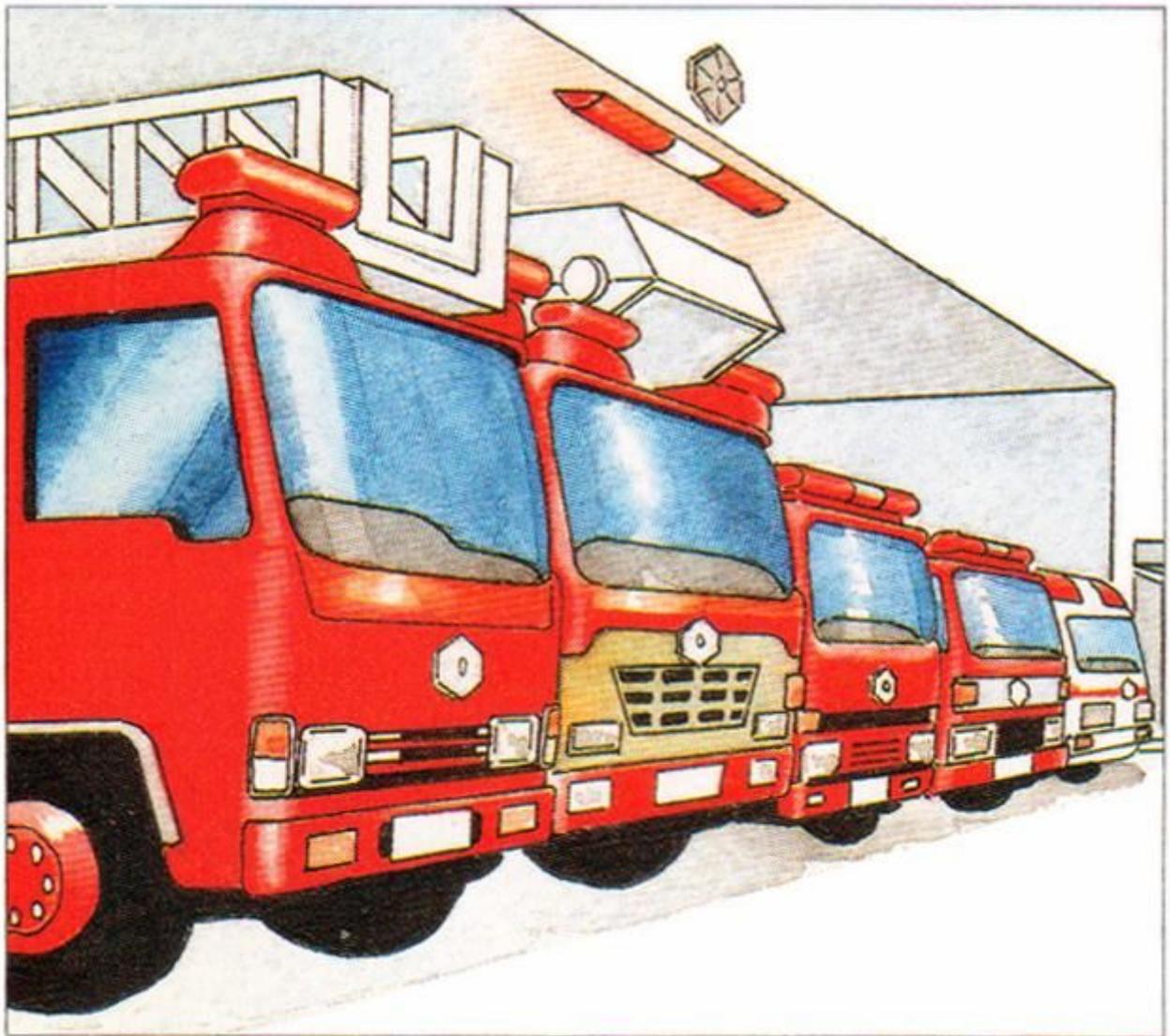
### ※年度別消防費予算(当初)に対する負担比較

年度 \ 区分	消防費予算(当初)(千円)	人口一人当り(円)	一世帯当り(円)
平成12年度	937,189	14,451	41,790
平成13年度	902,731	13,905	39,720
平成14年度	910,805	14,010	39,370
平成15年度	1,275,169	19,648	54,501
平成16年度	1,170,601	18,066	49,259
平成17年度	903,756	14,040	37,859
平成18年度	885,157	13,780	36,676

### ※消防予算

年 度	市 予 算 (単位千円)	消防費	比 率
平成12年度	15,970,000	937,189	5, 9
平成13年度	15,589,000	902,731	5, 8
平成14年度	15,546,000	910,805	5, 9
平成15年度	15,740,000	1,275,169	8, 1
平成16年度	15,985,000	1,170,601	7, 3
平成17年度	15,722,000	903,756	5, 7
平成18年度	15,514,000	885,157	5, 7

# 消 防





## 消防課事務分掌

### 庶務係

1. 公印の保管に関する事。
2. 文書收受、発送及び管理にかんすること。
3. 職員の人事及び給与に関する事。
4. 条例、規則の制定及び開廃に関する事。
5. 予算及び管理に関する事。
6. 物品の購入に関する事。
7. 職員の貸与品に関する事。
8. 安全衛生管理に関する事。
9. 消防施設の整備計画に関する事。
10. 消防財産に関する事。
11. 個人情報の管理に関する事。
12. 消防統計及び広報の統括に関する事。
13. 消防団に関する事。
14. 表彰及び儀式に関する事。
15. 公務災害補償に関する事。
16. 職員の福利厚生に関する事。
17. 消防職員委員会に関する事。
18. 課内の庶務に関する事。
19. 他の主管に属さない事務に関する事。

### 警防係

1. 警防計画及び演習訓練に関する事。
2. 消防車両・資機材の整備及び管理に関する事。
3. 消防水利の計画及び検査に関する事。
4. 消防総合応援協定に関する事。
5. 開発行為に伴う指導又は協議に関する事。
6. 安全運転管理に関する事。
7. 救急・救助の総括に関する事。
8. 応急手当の普及啓発に関する事。
9. 救急搬送証明書の交付に関する事。
10. 医療機関との連絡調整に関する事。
11. 消防用通信施設の整備及び管理に関する事。
12. 気象の総括に関する事。
13. 消防用燃料等に関する事。
14. その他警防に関する事。

## 予 防 係

1. 火災予防の広報、啓発に関する事。
2. 予防査察及び指導に関する事。
3. 建築確認等の同意事務に関する事。
4. 防火管理者の育成及び指導に関する事。
5. 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
6. 火災予防関係法令の実施に関する事。
7. 火災原因及び損害調査に関する事。
8. 予防統計及び情報管理に関する事。
9. 住宅防火対策に関する事。
10. 火災の罹災証明の交付に関する事。
11. 防火基準適合表示に関する事。
12. 防火クラブの育成及び指導に関する事。
13. 街角消火器の整備に関する事。
14. 消防訓練の指導に関する事。
15. その他予防に関する事。

## 保 安 係

1. 危険物製造所等の規則及び許認可事務に関する事。
2. 危険物製造所等の保安の確保及び指導に関する事。
3. 指定数量未満の危険物、指定可燃物等の規制及び指導に関する事。
4. 火薬類の規制事務に関する事。
5. 液化石油ガス等の保安の確保及び指導に関する事。
6. 危険物製造所等、火薬類及び液化石油ガス等の災害調査に関する事。
7. 危険物施設等の統計に関する事。
8. 防火安全協会に関する事。
9. その他保安に関する事。

## 消防署事務分掌

### 消防係

1. 火災等の警戒及び防御に関すること。
2. 消防水利の管理保全に関すること。
3. 消防機械器具の管理保全に関すること。
4. 警防調査に関すること。
5. 消防用通信施設の運用に関すること。
6. 火災原因及び損害調査に関すること。
7. 火災予防条例に関すること。
8. 消防訓練に関すること。
9. 街角消火器の維持管理に関すること。
10. 気象統計に関すること。
11. 署内の庶務に関すること。
12. 他の主管に属さない事務に関すること。

### 救急係

1. 救急業務に関すること。
2. 救急講習の指導及び訓練に関すること。
3. 救急車及び救急資機材の管理保全に関すること。
4. 救急統計及び報告に関すること。
5. 救急救命処置技術の研究に関すること。
6. その他救急に関すること。

### 救助係

1. 救助業務に関すること。
2. 特殊災害の警防活動に関すること。
3. 救助訓練に関すること。
4. 救助工作車及び救助資機材の管理保全に関すること。
5. 救助調査に関すること。
6. 救助統計及び報告に関すること。
7. その他救助に関すること。

# 消防吏員階級別年齢調べ

平成18年4月1日

	消防士	副士長	士長	司令補	司令	司令長	消防監	計
18歳								
19歳								
20歳								
21歳								
22歳	2							2
23歳		1						1
24歳		2						2
25歳		2						2
26歳		2						2
27歳								
28歳		4						4
29歳		4						4
30歳		5						5
31歳			1					1
32歳		1	3					4
33歳			1					1
34歳								
35歳			2					2
36歳			1					1
37歳								
38歳			1					1
39歳								
40歳			2					2
41歳			1					1
42歳			1	2				3
43歳			1					1
44歳				3				3
45歳			3	2				5
46歳			1	2				3
47歳			1	1				2
48歳			1	1	1			3
49歳			1	1	1			3
50歳			3	1	1			5
51歳				3				3
52歳			1	2				3
53歳				3				3
54歳						1		1
55歳				1	1			2
56歳				1			1	2
57歳					5			5
58歳					1			1
59歳						1		1
60歳								
計	2	21	25	23	10	2	1	84

平成18年4月1日

配置別		階 級							事 務 職 員	合 計
		消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士		
消 防 本 部	消 防 長	1							1	
	次 長		1						1	
	消 防 課 長		1						1	
	課 長 補 佐			1					1	
	庶 務 係				1	2		1	4	
	警 防 係			[1]	1				[1]1	
	予 防 係				2		1		3	
	保 安 係				1	1			2	
消 防 署	署 長		[1]						[1]	
	主 幹			2					2	
	署 長 補 佐			4					4	
	消 防 係			[2]	6	4	7	2	[2]19	
	救 助 係				3	3	4		10	
	救 急 係			[1]	2	3	4		[1]9	
	指 令 係			[1]	1	2			[1]3	
分 署	署 長			1					1	
	署 長 補 佐			2					2	
	消 防 係			[1]	2	6	3		[1]11	
	救 急 係			[1]	4	4	2		[1]10	
	合 計	1	2	10	23	25	21	2	85	

[ ]:兼務

## 現有消防力の比較

平成18年4月1日

この基準(平成12年1月20日消防庁告示第1号)は、市町村が火災の予防・警戒及び鎮圧、救急業務並びに人命の救助等を確実に遂行し、当該市町村の区域における消防の責任を十分に必要な施設及び人員について定めたものである。

したがって、当市の人員及び施設は基準以下なので、できるだけ基準に達するよう計画的に整備を推進していく必要がある。

### (1) 施設

種別	区分	基準数	現 有	充足率 (%)
署 所		2	2	100
消防ポンプ自動車 (署管理分)		4	4	100
はしご自動車		1	0	0
化学消防自動車		1	1	100
救急自動車		3	3	100
救助工作車		1	1	100

### (2) 人 員

種別	区分	基準数	現 有	充足率 (%)
消防隊員		42	28	66.6
救急隊員		18	21	116.6
救助隊員		15	10	66.6
通信員		6	4	66.6
予防要員		9	5	55.5
消防司令長等		21	13	61.9
庶務の処理等人員		4	4	100
消防吏員合計		115	85	73.91

# 警 防



## 消防水利設置状況

消防水利には、消火栓、防火水槽、プールなどの人工水利と、河川、池、海などの自然水利に区別できますが、当市ではその大部分を人工水利で占めています。消火栓は連続的に給水され、かつ、簡便に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断・減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点もあわせもっています。

こうした消火栓の持つ弱点をカバーするためにも、防火水槽などを地域の実情に応じて計画的に整備を図っております。

平成17年4月1日

種別	消火栓	防火水槽					その他		
		100m <sup>3</sup> 以上	60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 未満	プール	河川溝 等	その他
公設	633		2 (2)	64 (16)	10 (1)	1	13	1	
私設			1 (1)	55 (25)	15 (3)	1	1		6
計	633		3 (3)	119 (41)	25 (4)	2	14	1	6

(注) 1 ( ) は耐震性防火水槽

2 その他の分類 (最沈層・受水層・蓄熱層・排水層)

# ブロック別消火栓配管口径別設置数

平成17年4月1日

種別 ブロック	配管口径内訳 (mm)									合計
	500	400	350	250	200	150	125	100	75	
2							5	10	7	22
3					2	23		7	24	56
4								2	1	3
5				4	6	30	2	7	16	65
6				6	2	10		14	18	50
7										
8	2	2	4	10	25	25	1	14	32	115
9				1	4	16		6	19	46
10A	1		4	9	6	10	3	21	29	83
10B		1		5	8	39	1	41	35	130
11						14	1	9	10	34
12				1	2	9		7	10	29
合計	3	3	8	36	55	176	13	138	201	633



## 消防無線一覧表

局 所	所属	呼出名称	配置及び積載車	出力 (W)	メーカー・型式
基地局	消防本部	しょうぼうはすだ	通信室	5	沖電気・VM3050
		しょうぼうはすだ	通信室	5	沖電気・VM1055
移動局・携帯局	消防本部	はすだしれい1	指令車	10	沖電気・VM1125MT
		はすだしれい2	広報指導車	10	沖電気・VM1135T
		はすだ101	指令車	10	沖電気・VM1135T
		はすだ1	水槽付ポンプ車	10	沖電気・VM1107T
	消防署	はすだ2	消防車	10	沖電気・VM1125MT
		はすだかがく1	化学車	10	沖電気・VM1107T
		はすだきゅうじょ1	救助工作車	10	沖電気・VM1125MT
		きゅうきゅう はすだ1	救急車	10	沖電気・VM1125MT
		きゅうきゅう はすだ2	救急車	10	沖電気・VM1135T
		はすだきざい1	資機材搬送車	10	沖電気・VM1135T
		はすだ102	救急車	1	沖電気・VM1130T
		はすだ103	化学車	5	沖電気・VM1130T
		はすだ104	消防車	5	沖電気・VM1138T
		はすだ105	水槽付ポンプ車	5	沖電気・VM1130T
		はすだ108	救急車	5	沖電気・VM1138T
		はすだ109	救助工作車	5	沖電気・VM1138T
		はすだ110	救助工作車	5	沖電気・VM1138T
移動局・携帯局	南 分 署	はすだみなみ1	広報指導車	10	沖電気・VM1125MT
		はすだみなみ2	水槽付ポンプ車	10	沖電気・VM1135T
		はすだみなみ3	消防車	10	沖電気・VM1135T
		きゅうきゅう はすだ3	救急車	10	沖電気・VM1135T
		はすだ106	水槽付ポンプ車	5	沖電気・VM1138T
		はすだ107	消防車	5	沖電気・VM1138T
		はすだ111	救急車	5	沖電気・VM1138T

※ 周波数 市町村波 150.75MHZ  
 県 波 148.29MHZ

# 消防自動車配置状況 (消防本部・署)

平成18年4月1日現在

配置	種別	車名	型式	ポンプ 会社名	ポンプ 級別・型式	購入 年月日	備考
消防本部	指令車	トヨタ	R-ET196V			H8.5	寄贈車 贈 セイコーアドバンス
	広報 指導車	ホンダ	E-RF1			H11.3	
	連絡車	トヨタ	E-SV40			H7.4	
	連絡車	スズキ	LA-MC22S			H13.4	寄贈車 贈 セイコーアドバンス
	連絡車	スズキ	DBA-MH21S			H18.7	寄贈車 贈 セイコーアドバンス
消防署	消防車	イズズ	KC-NKR71 GN	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H9.3	
	水槽付ポンプ車	ヒノ	ADG-FD7 JEWA 改	(株)モリタ	A-2級 I-A型	H18.3	水槽 1100L
	化学車	ヒノ	ADG-GD7 JGWA 改	(株)モリタ	A-2級 II型	H18.3	水槽 1300L 薬液 500L
	救助 工作車	ヒノ	KC-GD1JGBA		II型	H8.2	
	救急車	ニッサン	E-ALE50 改		高規格	H11.2	
	救急車	ニッサン	E-FEGE24			H7.3	
	資機材 搬送車	マツダ	GE-SYE6T			H14.1	
南分署	広報 指導車	トヨタ	R-ET196V			H8.5	寄贈車 贈 セイコーアドバンス
	消防車	ヒノ	KK-XZU331M	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H15.3	
	水槽付ポンプ車	ヒノ	KK-FD1JEEA 改	(株)モリタ	A-2級 I-A型	H15.11	水槽 1500L
	救急車	トヨタ	TC-VCH32S		高規格	H16.2	

## 消防相互応援協定

この協定は、消防組織法第21条の規定に基づき、市・町消防本部及び組合消防本部と相互の消防力を活用して災害による被害を最小限に防止することを目的とする。

市・町・組合	協定締結年月日	協定内容（災害種別）
久喜地区・白岡町	昭和51年4月1日	久喜地区消防組合・蓮田市・白岡町消防救急相互応援協定（救急）
久喜地区	昭和54年7月21日	久喜地区消防組合・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
白岡町	昭和54年8月1日	白岡町・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
上尾市	昭和54年8月25日	上尾市・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
伊奈町	昭和54年8月28日	伊奈町・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
埼玉県央広域	平成8年8月1日	埼玉県央広域・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
さいたま市	平成13年12月1日	さいたま市・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
埼玉県下の市町村、 消防の一部事務組合 及び消防を含む一部 事務組合	昭和60年4月1日	埼玉県下消防相互応援協定
川口市・さいたま市 白岡町・羽生市 久喜地区・加須地区 群馬県館林地区消防 組合	平成4年3月12日	東北高速道路管内市町・組合（火災・救急）間の消防相互応援協定

# 指令

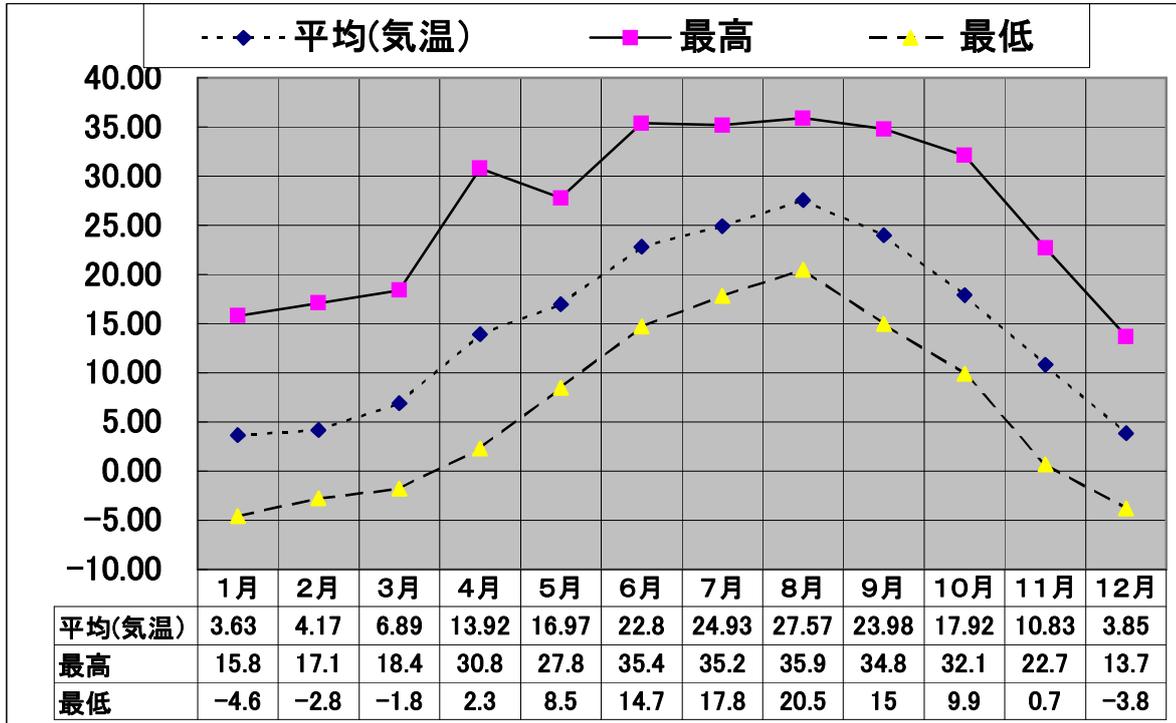


# 1.平成17年中 各注意報 ・ 警報等発令状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
警報	暴風警報													0
	暴風雪警報													0
	大雨警報				1			4	11	4				20
	洪水警報				1			5	11	4				21
	雷警報													0
	大雪警報													0
計		0	0	0	2	0	0	9	22	8	0	0	0	41
注意報	風雪注意報													0
	強風注意報	8	3	8				4	4	3		1	7	38
	大雨注意報	5			1	2	5	15	15	15	5			63
	洪水注意報	4					1	12	6	8				31
	大雪注意報		2	2										4
	雷注意報	2		2	9	8	19	42	69	20	6	1		178
	乾燥注意報	19	16	20	16	5						9	30	115
	濃霧注意報		2	3	1		1				1	1	1	10
	霜注意報			1	5									6
	高温注意報													0
	低温注意報	5												5
	着雪注意報		2	2										4
計		43	25	38	32	15	26	73	94	46	12	12	38	454
情報	大雨に関する気象情報				2			1	1					4
	台風に関する気象情報							14	14	5				33
	梅雨に関する気象情報													0
	大雪に関する気象情報	3	5	5										13
	雷に関する気象情報													0
	洪水に関する気象情報													0
	低気圧に関する気象情報	2												2
	高温に関する気象情報							1	3					4
	低温に関する気象情報													0
	降雪に関する気象情報													0
	強風に関する気象情報													0
	雷と降雹に関する気象情報							1						1
	雷雨に関する気象情報													0
	小雨に関する気象情報					1								1
	雷と雨に関する気象情報							3						3
大雨と雷に関する気象情報								4	17	11			32	
計		5	5	5	2	1	4	20	35	16	0	0	0	93
その他	大気汚染状況				12	31	30	31	31	29				164
	光化学スモッグ警報									2				2
	光化学スモッグ注意報						14	13	2	10				39
	光化学スモッグ予報						6	5	2					13
	火災気象状況	21	11	17	8	9	0	0				8	15	89
	消防活動支援資料	28	38	32	26	16	0	0				28	47	215
計		49	49	49	46	56	50	49	35	41	0	36	62	522

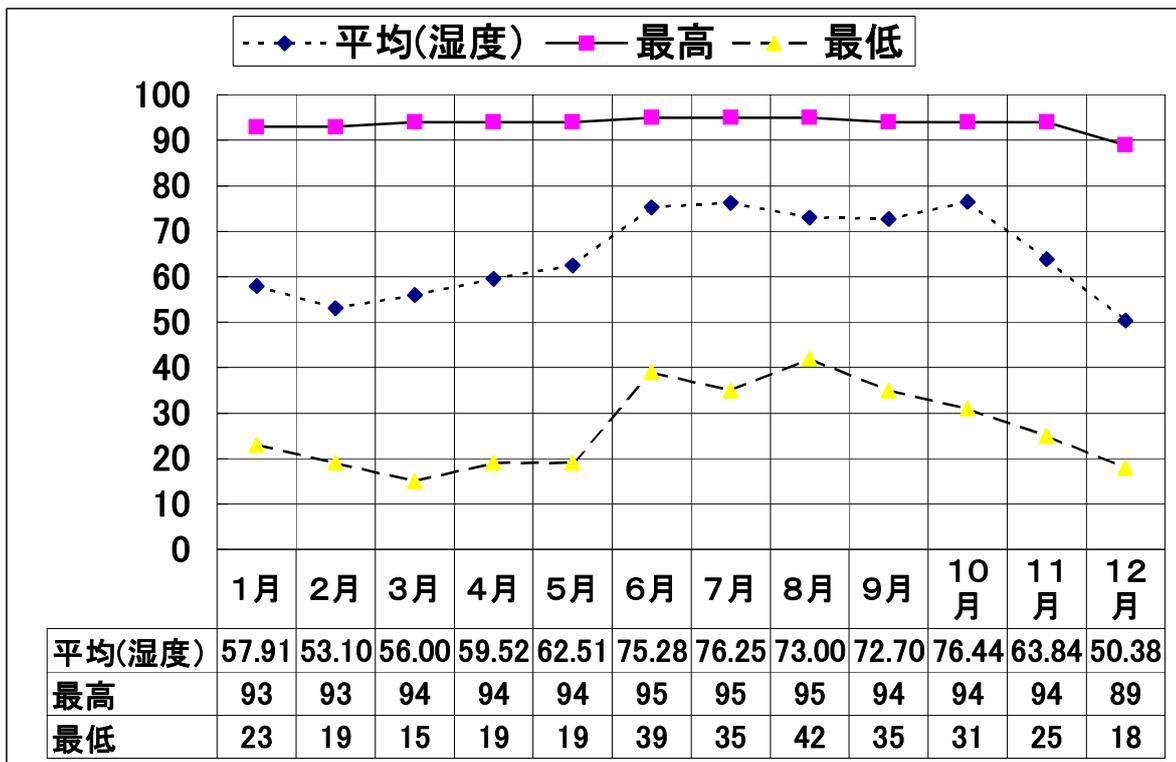
## 2. 気 温

平成17年中



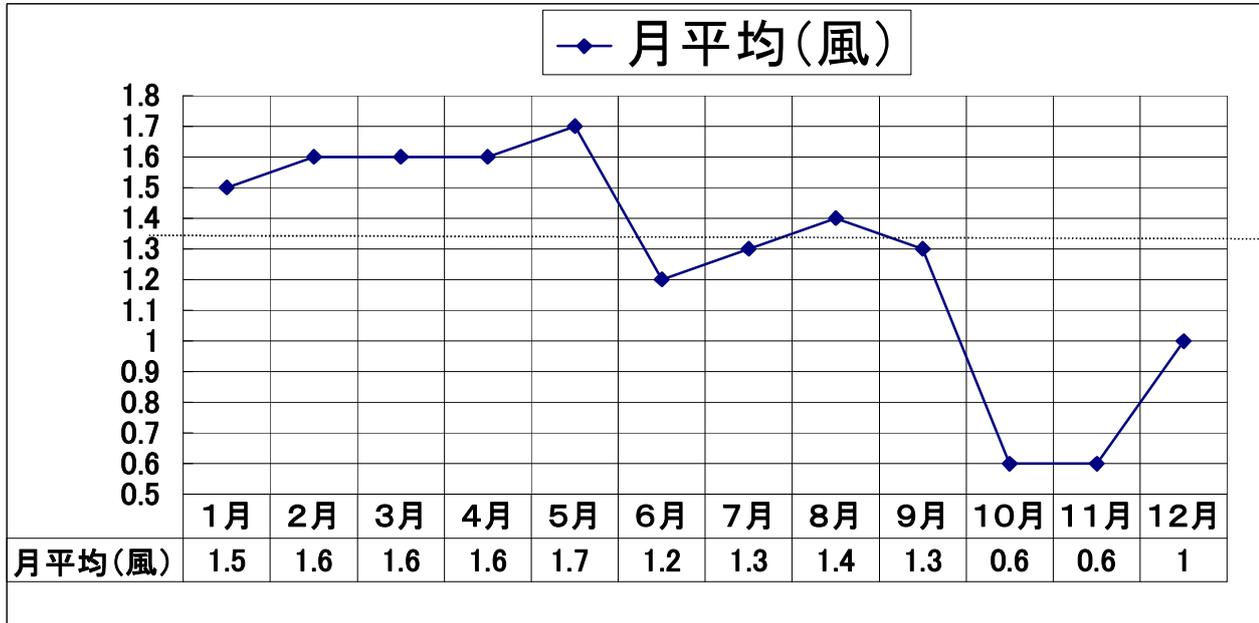
## 3. 湿 度

平成17年中



# 4. 風 速

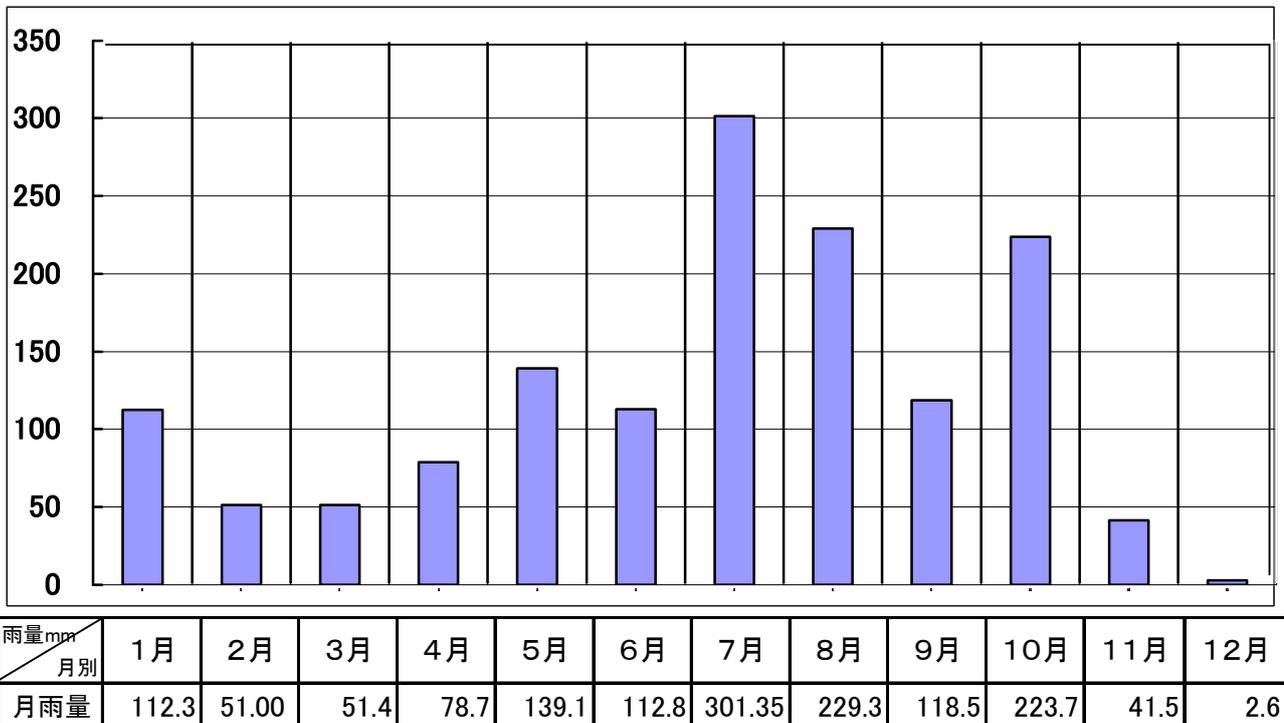
平成17年中



----- 平均風速

# 5. 雨 量

平成17年中



# 予 防



# 平成17年中の蓮田市火災概

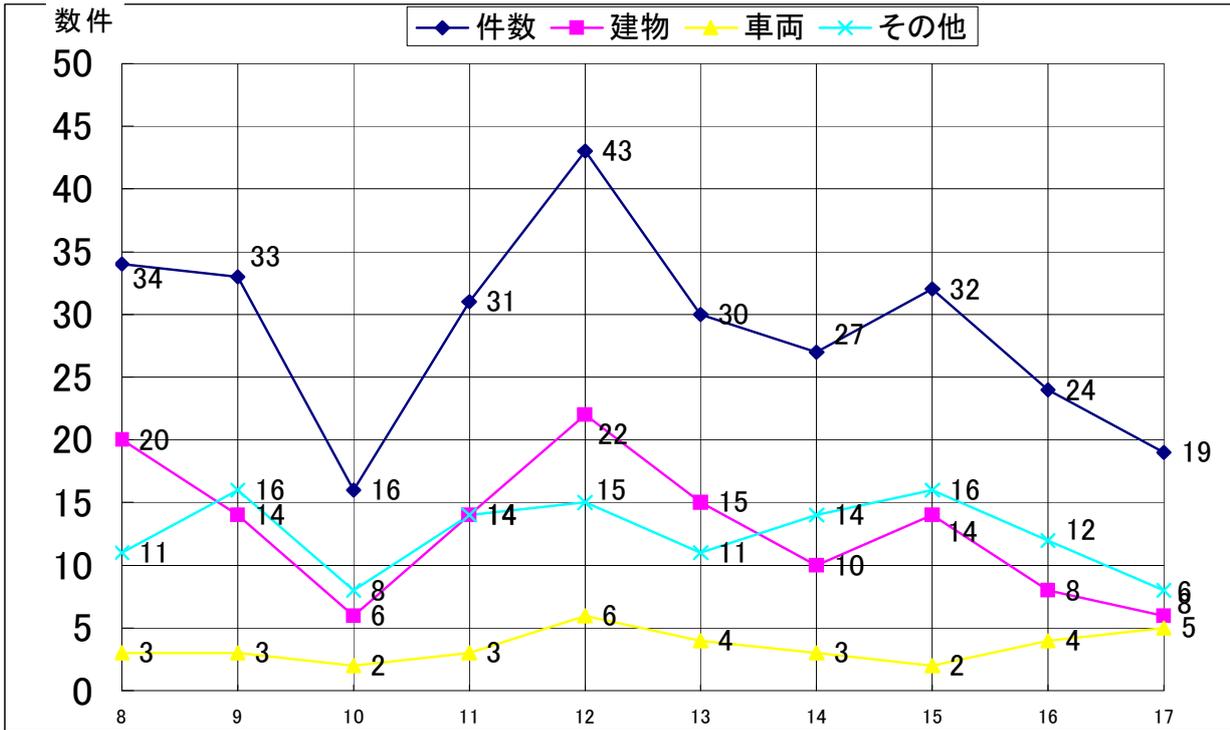
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
火災発生件数		1	1		1	1	2		5	2		2	4	19	
種別	建物火災						1		2	1		2		6	
	車両火災					1	1		3					5	
	その他火災	1	1		1					1			4	8	
原因別	タバコ											1	1	2	
	電気関係		1						1					2	
	枯草等の焼却 野焼き等の延焼	1											1	2	
	ガスコンロ								1					1	
	暖房器具											1		1	
	放火(疑い含む)				1		1						1	3	
	その他								1						1
	不明					1	1		2	2			1		7
負傷者					1					1				2	
死者														0	
焼損表面積 (㎡)									5.06	31.2				36.26	
焼損床面積 (㎡)							37.67			103		1.8		142.37	
焼損棟数							1		2	4		2		9	
火元焼損区分	全焼									1				1	
	半焼						1							1	
	部分焼								1					1	
	ぼや								1			2		3	
延焼による棟数										3				3	
罹災世帯							1		1	3		2		7	
罹災人員							4		2	8		3		17	
損害額	建物(千円)						1,720		53	9,768		117		11,658	
	内容物(千円)						832			2,222		346		3,400	
	その他(千円)		2,630			6,975	298			15				9,918	
	合計(千円)		2,630			6,975	2,850		53	12,005		463		24,976	

平成14年中の火災件数 27件 損害額 6,131 千円

平成15年中の火災件数 32件 損害額 52,457 千円

平成16年中の火災件数 24件 損害額 29,664 千円

## 過去10年間の火災発生件数



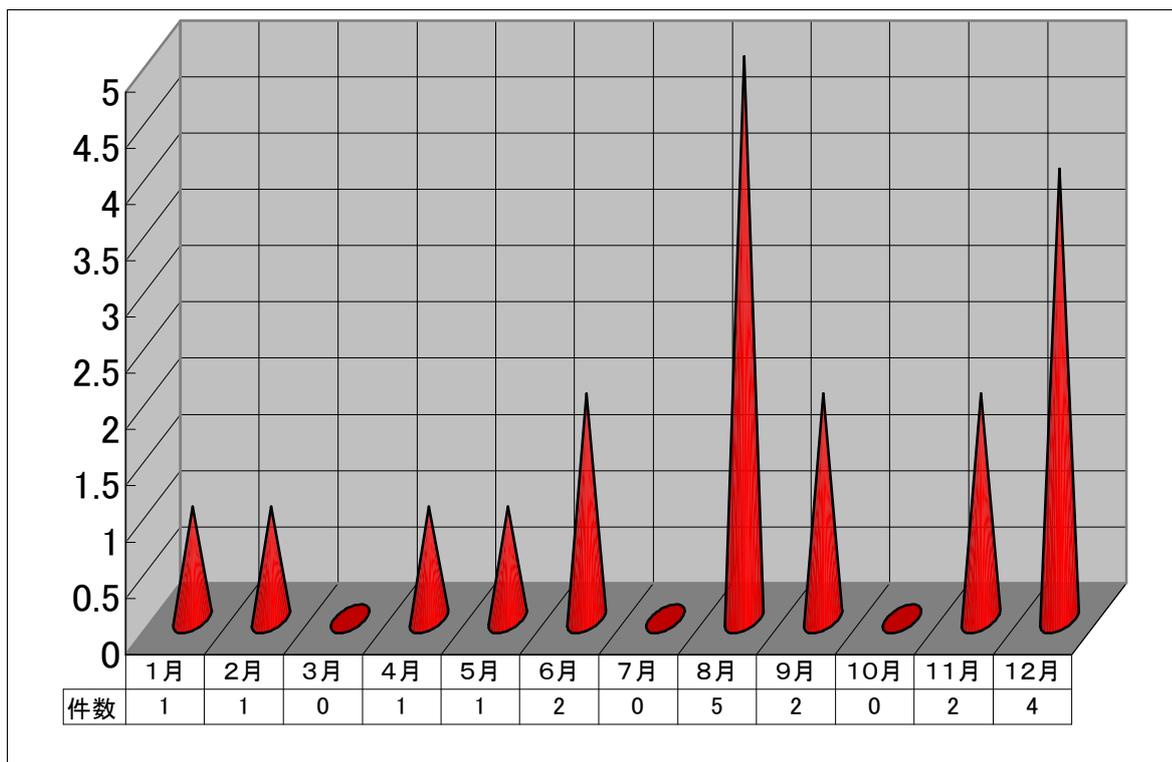
年別	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
件数	34	33	16	31	43	30	27	32	24	19
建物	20	14	6	14	22	15	10	14	8	6
車両	3	3	2	3	6	4	3	2	4	5
その他	11	16	8	14	15	11	14	16	12	8
損害額 (千円)	65,958	40,399	115,647	22,604	59,350	149,807	6,131	52,457	29,664	24,976

## 過去5年間における原因

原因別	放火 (疑い含む)	ガス コンロ	焚 き 火	た ば こ	電 気 系 統	子 供 の 火 遊 び	石 油 ス ト ー ブ	風 呂 釜	ス プ レ ー 缶	交 通 事 故	落 雷	そ の 他	不 明
平成17年	3	1		2	2							4	7
平成16年	1	4				1						8	10
平成15年	10	4					1	1	1	2		8	5
平成14年	2	3	2	2	1	1						2	14
平成13年	5	3	4	2	1	2			1	1		1	10
合 計	21	15	6	6	4	4	1	1	2	3	0	23	46

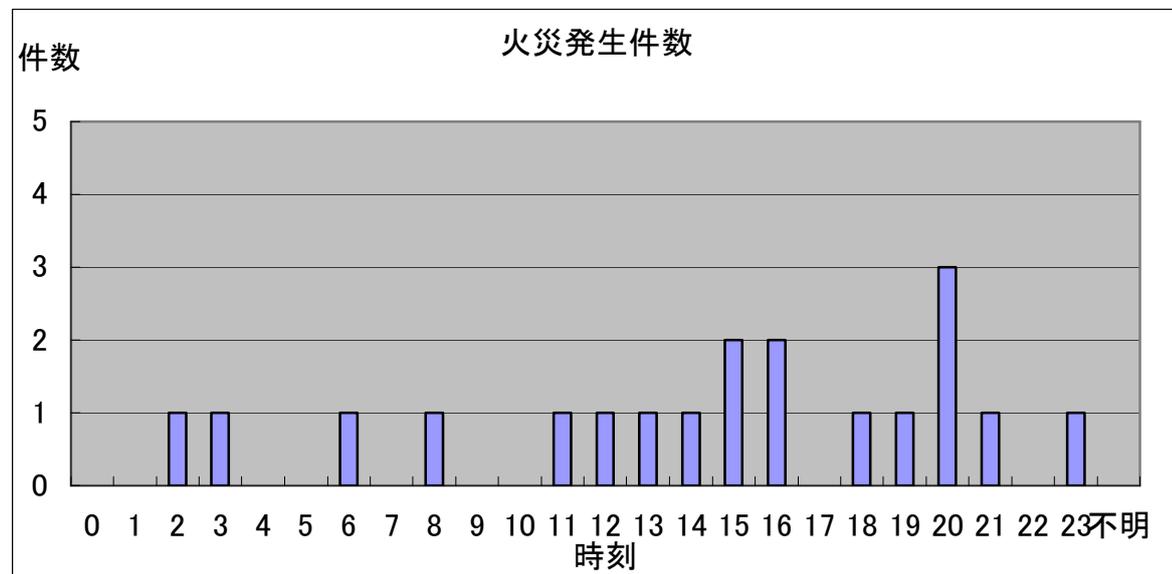
# 月別火災発生件数

平成17年中



# 時間別火災発生件数

平成17年中



時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
件数	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	2	2	0	1	1	3	1	0	1	0

# 訓練及び広報活動等状況

平成17年度

## 消防訓練

	延べ訓練回数	88 回
	延べ訓練参加人数	8156 人
消火訓練	訓練回数	66 回
	参加人数	5774 人
避難訓練	訓練回数	68 回
	参加人数	6675 人
通報訓練	訓練回数	57 回
地震・煙・救助体験などその他の訓練	訓練回数	15 回
	参加人数	1988 人

\* 消防本部に届出のあったものです。

\* 市内の自主防災組織、自治会で届出のあったものを含みます。

## 広報活動

種	別	対	象	件	数
消防車による巡回 広報活動	市	内	全	域	136 回
					188時間6分
					551 人
ポスター、チラシ等の 配布	各	事	業	所	9 種類
					1850 枚
火災予防啓蒙活動	—	—	—	—	まつり 1 回
					火災予防PR 7 回
住宅用火災警報器 PR活動	—	—	—	—	自治会 6 回
					306 人
					対象物等 6 回
—	—	—	—	—	570 人
					防災訓練 1 回
					100 人

## 住宅防火

種	別	対	象	件	数
住宅防火PR					13 回
					72 世帯

## 防火管理者資格取得講習会(甲種)

講習回数	受講者数	修了者数
2 回	19 名	19 名

防火対象物調（延べ面積 150㎡以上）

平成 17年度

用 途		対 象 物 数	地上5階以上又は 高さ15m以上
1	イ	劇 場、映画館、演芸場、観覧場	
	ロ	公 会 堂、集 会 場	19
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場、ダンスホール	7
	ハ	風俗営業等	
3	イ	待 合、料理店等	4
	ロ	飲 食 店	29
4	百貨店、店 舗、マーケット等		74
5	イ	旅 館、ホテル、宿泊所	5
	ロ	寄宿舍、下 宿、共同住宅	592
6	イ	病 院、診療所、助産所	40
	ロ	福 祉及び厚生施設等	21
	ハ	幼稚園、養護学校等	12
7	小、中、高等学校、各種学校		56
8	図書館、博物館、美術館		2
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	
10	車 両 の 停 車 場 等		2
11	神 社、寺 院、教 会		13
12	イ	工 場、作業場	186
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫、駐車場	13
	ロ	飛行機の格納庫	
14	倉 庫		102
15	前各項に該当しない事業場		125
16	イ	特定対象物の複合用途建物	123
	ロ	イ以外の複合用途建物	50
合 計		1,475	36

防火対象物の立入検査実施状況調（延べ面積 150㎡以上）

平成17年度

用 途		対 象 物 数	立入検査実施件数
1	イ	劇 場、映画館、演芸場、観覧場	
	ロ	公 会 堂、集 会 場	19
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場、ダンスホール	7
	ハ	風俗営業等	1
3	イ	待 合、料理店等	4
	ロ	飲 食 店	29
4	百貨店、店 舗、マーケット等		74
5	イ	旅 館、ホテル、宿泊所	5
	ロ	寄宿舍、下 宿、共同住宅	592
6	イ	病 院、診療所、助産所	40
	ロ	福 祉及び厚生施設等	21
	ハ	幼稚園、養護学校等	12
7	小、中、高等学校、各種学校		56
8	図書館、博物館、美術館		2
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	
10	車 両 の 停 車 場 等		2
11	神 社、寺 院、教 会		13
12	イ	工 場、作業場	186
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	9
13	イ	自動車車庫、駐車場	13
	ロ	飛行機の格納庫	1
14	倉 庫		102
15	前各項に該当しない事業場		125
16	イ	特定対象物の複合用途建物	13
	ロ	イ以外の複合用途建物	50
合 計		1,475	136

## 消 防 法 及 び 火 災 予 防 条 例 等 に 基 づ く 届 出 件 数

平成17年度

項 目	件 数
防火対象物使用開始届出	49
消防用設備等着工届出	25
消防用設備等設置届出	104
消防用設備等点検報告	233
防火管理者選(解)任	53
消防計画作成(変更含む)届出	49
防火対象物定期点検結果報告	11
消防用設備等の特例基準適用申請	4
火災とまぎらわしい届出	19
煙 火 打 ち 上 げ	2
発 電 設 備	1
変 電 設 備	6
蓄 電 池 設 備	5
炉・ボイラー設備設置届出	2
催 物 開 催 届 出	1
禁止行為の解除承認申請	3
消防訓練実施計画(結果)届出書	80

## 消 防 法 に 基 づ く 消 防 同 意 事 務 件 数

平成17年度

建 築 確 認 申 請	88			
消 防 同 意	88			
消防同意内訳		指 導 無 し	指 導 有 り	合 計
	新 築	40	43	83
	増 築	5	0	5
	改 築	0	0	0
	移 転	0	0	0
	修 繕	0	0	0
	模 様 替 え	0	0	0
	用 途 変 更	0	0	0

# 保安



危険物類別施設（完成検査済施設）数及び事務処理状況

平成17年度

区分 製造所等 の区分		施設数						処理状況（交付）				
		第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	混在	許可		完成検査	
									設置	変更	設置	変更
製造所					3			1		1		
貯蔵所	屋内貯蔵所				19			2				
	屋外貯蔵所				5					1		1
	屋内タンク貯蔵所											
	屋外タンク貯蔵所				32					1		1
	地下タンク貯蔵所				33						1	
	移動タンク貯蔵所				11					1		1
取扱所	給油取扱所				24				1	3	1	3
	一般取扱所				23			1		7		6
合計					150			4	1	14	2	11



# 救 急



# 救急の概要

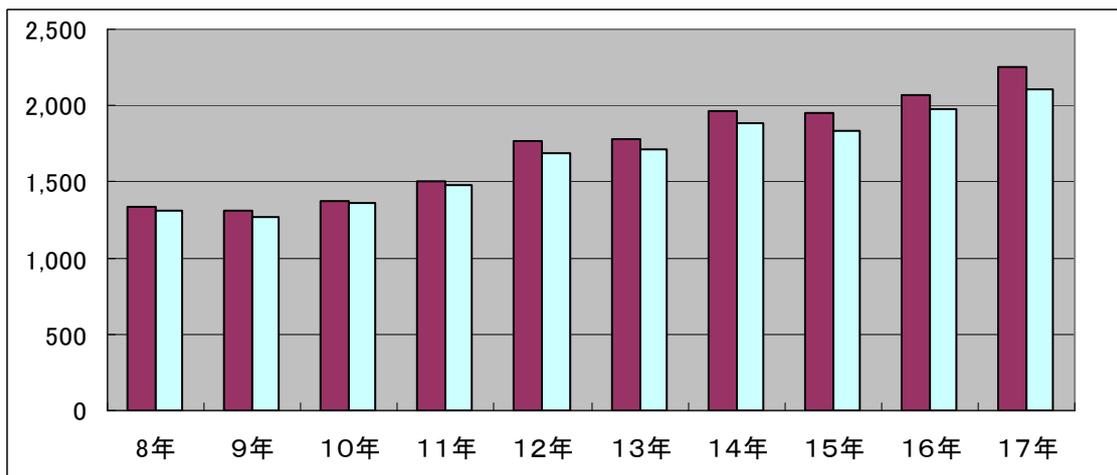
## 1 救急業務

蓮田市の平成 17 年中の救急出場件数は、2,245 件（前年2,065件）、搬送人員にあつては2,110人（前年1,978人）であり、平成8年の1,339件と比べ、906件の増加となっております。

このことは、市民の約31人に1人（前年33人に1人）が救急車を利用していることとなり、過去と比較しても、増加の一途をたどっており、市民の生命・身体を守る上で、なくてはならない行政サービスであると言えます。

今後、急速な高齢化社会の到来や、疾病の多様化により、出場件数がさらに増加することが予想されます。よって、救急業務をさらに充実強化していく為に、高規格救急自動車、救急資器材の整備、地域医療機関との連携強化、救急隊員の資質の向上、さらには応急手当の普及啓発を積極的に実施し、救命率の向上を推進する必要があります。

## 2 10年間の救急出場件数・搬送人員状況

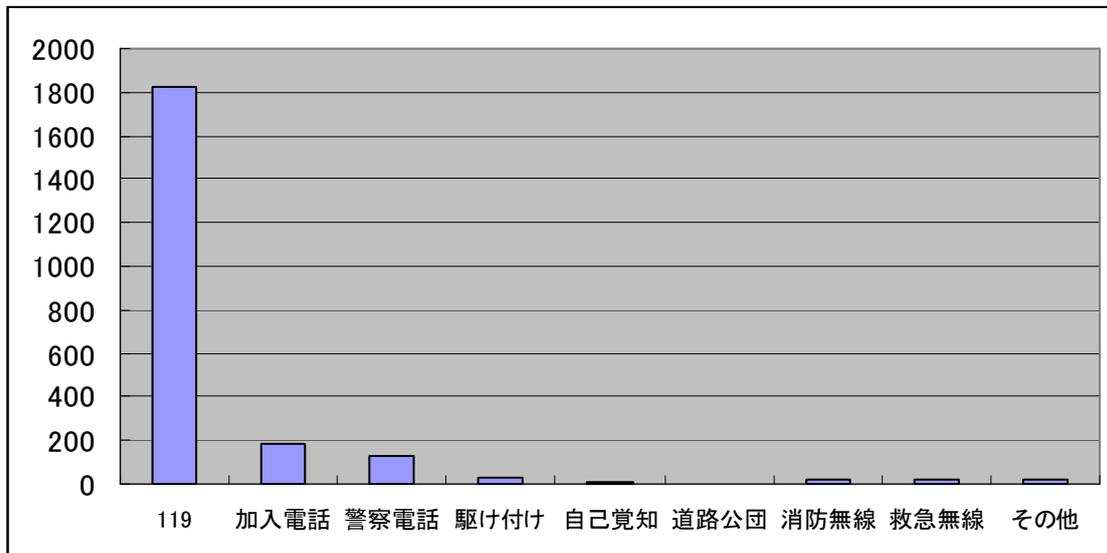


■ 出場件数 □ 搬送人員

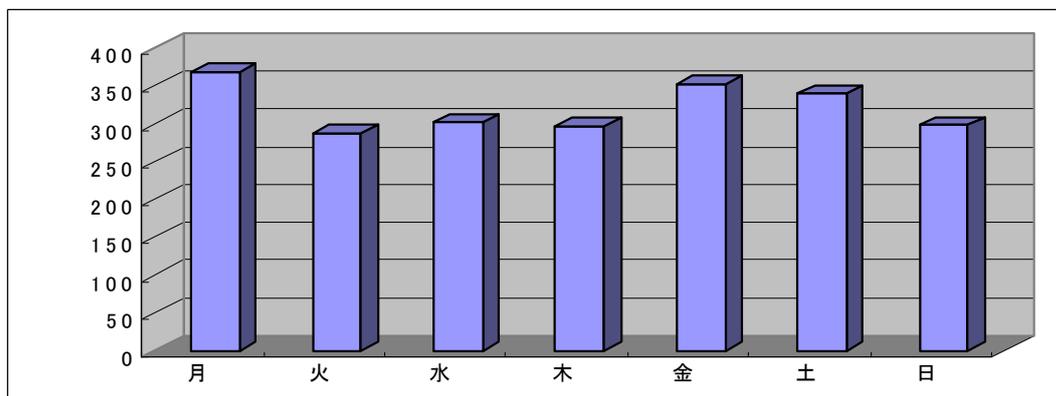
平成	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
件数	1,339	1,307	1,374	1,508	1,761	1,776	1,959	1,949	2,065	2,245
人員	1,313	1,267	1,358	1,482	1,691	1,713	1,885	1,826	1,978	2,110

### 3 救急通報手段状況

救急要請の手段ですが携帯電話の普及も伴って、119番通報が最も多くなっています。



### 4 曜日別出場状況

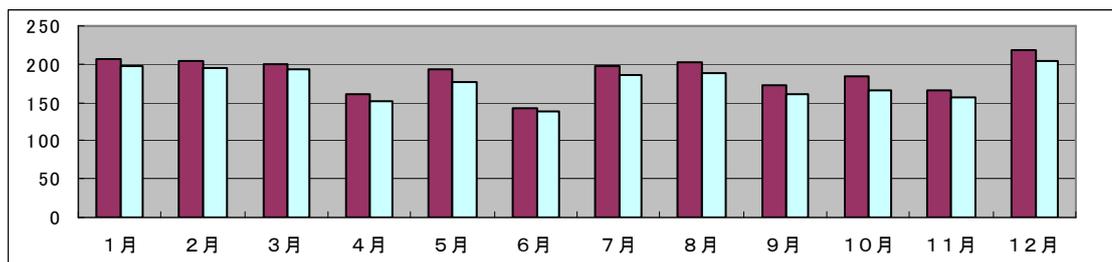


		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
曜日別	日	1			31		6	41	2	4	191	22	298
	月	1			76	4	2	43	1	4	193	44	368
	火	1			44	4	2	29		3	164	40	287
	水				51	2	1	31	2	6	174	35	302
	木			1	50		1	39	1	4	168	33	297
	金	2			51	2	2	42	3	4	203	44	353
	土				39	3	1	41	4	8	217	27	340
	計	5		1	342	15	15	266	13	33	1310	245	2245

## 5 平成17年中救急出場件数及び搬送人員

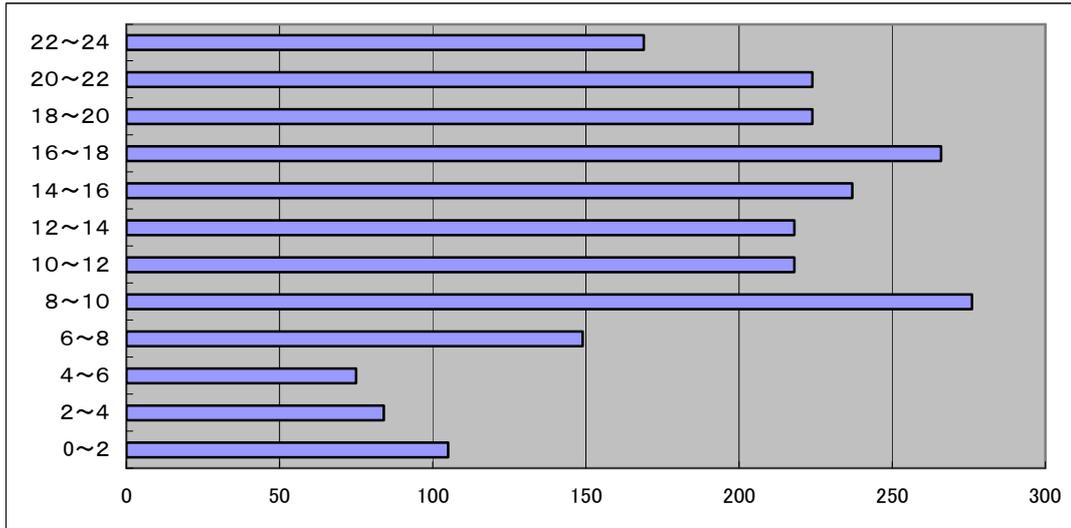
(上段は件数、下段は人員)

種別 月別		救 急 事 故 種											合 計
		火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	
1月	出動件数				35	1		25	1	5	117	23	207
	搬送件数				35	1		22	1	4	112	22	197
2月	出動件数	1			19	1	1	28	1	2	116	35	204
	搬送件数				21	1	1	27		2	109	34	195
3月	出動件数				27	1	1	10		1	140	19	199
	搬送件数				26	1	1	10			135	19	192
4月	出動件数				29	1	2	15		3	95	16	161
	搬送件数				28	1	2	14		2	89	16	152
5月	出動件数				32	2	3	19	6	5	107	18	192
	搬送件数				36	2	3	16	3	2	97	18	177
6月	出動件数			1	20		3	14		3	88	14	143
	搬送件数				23		4	14		2	82	13	138
7月	出動件数	1			31	2	1	28		3	114	18	198
	搬送件数				30	2	1	27		2	106	18	186
8月	出動件数				31	1	3	23	2	6	112	23	201
	搬送件数				34	1	3	21	2	2	105	20	188
9月	出動件数	1			29	3	1	19			108	11	172
	搬送件数	1			26	3	1	19			101	10	161
10月	出動件数				23			31	1	1	105	23	184
	搬送件数				24			24	1		97	20	166
11月	出動件数	2			34	2		22		1	88	17	166
	搬送件数				37	2		19			81	16	155
12月	出動件数				32	1		32	2	3	120	28	218
	搬送件数				33	1		30	1	3	109	26	203
合計	出動件数	5	0	1	342	15	15	266	13	33	1310	245	2245
	搬送件数	1	0	0	353	15	16	243	8	19	1223	232	2110



■ 件数  
□ 人員

## 6 時間別出場件数



		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
合計		5		1	342	15	15	266	13	33	1310	232	2232
時間別内訳	0~2				17			10	1	2	70	5	105
	2~4				4			7	1		70	1	83
	4~6	1			6			8		3	53	2	73
	6~8	1			24	1		14	1	1	106	1	149
	8~10	1		1	44	3	2	28	1		152	42	274
	10~12				28	2	3	28		3	116	37	217
	12~14	1			21	2	1	31	1	2	115	43	217
	14~16				50	4	4	25		8	113	33	237
	16~18	1			47	1	1	40		4	136	35	265
	18~20				49	1	2	32	2	1	115	20	222
	20~22				25	1	2	29	2	3	156	5	223
	22~24				27			14	4	6	108	8	167

## 7 事故種別傷病程度別搬送状況

事故種別 \ 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡				2		1	2		3	29	1	38
重症	1			13	2		21		3	118	68	226
中等症				49	4	3	56	1	9	553	143	818
軽症				289	9	12	164	7	4	523	20	1028
計	1			353	15	16	243	8	19	1223	232	2110

## 8 事故種別年齢区分別搬送人員

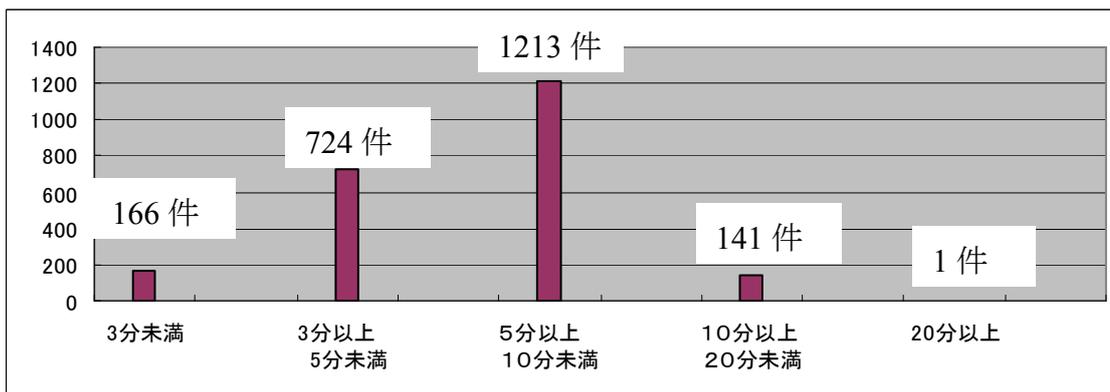
事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児											20	20
乳幼児				11			43			81	5	140
少年				36		9	9		1	34	6	95
成人	1			264	15	7	70	5	13	479	88	942
老人				42			121	3	5	629	113	913
計	1			353	15	16	243	8	19	1223	232	2110

※ 年齢区分は次のとおり分類する

- ・ 新生児 生後 28 日未満の者
- ・ 乳幼児 生後 28 日以上満 7 歳未満の者
- ・ 少年 満 7 歳以上満 18 歳未満の者
- ・ 成人 満 18 歳以上 65 歳未満の者
- ・ 老人 満 18 歳以上 65 歳未満の者

## 9 現場到着所要時間別出場件数

現場到着平均時間 = 5.47 分



## 1 0 急病にかかる疾病分類搬送人員

事故種別 傷病者程度	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	合計
	脳疾患	心疾患									
死亡	2	9		3				2		13	29
重症	49	11	5	15			2	10	3	23	118
中等症	66	52	49	67	11	20	14	9	54	211	553
軽症	15	33	19	40	50	22	24	3	51	266	523
合計	132	105	73	125	61	42	40	24	108	513	1223

## 1 1 救急支援活動状況

救急支援とは、救急現場の状況に応じて、消防車や救助工作車が同時に出動して、救急活動の支援を行うものです。

支援の内容は、幹線道路の交通事故や、駅・サービスエリア等の人通りの多い場所、住宅等建物において搬出困難な場合や、意識の無い傷病者など様々な事例で支援活動しています。

救急支援により、救急隊の安全な活動が可能となり、又マンパワーの増員により現場の滞在時間が短縮されるなど、必要性は今後ますます高まっていくと思われまます。

事故種別	急病	交通	一般	自損	労災	加害	その他	合計
出場件数	250	130	18	19	2	3	12	434

## 1 2 応急手当普及啓発活動

突然の事故や急病人などが発生した場合、救急車が現場に到着するまでの間、現場に居合わせた人(バイスタンダー)が適切な応急手当を速やかに行うことにより傷病者の救命率を高めます。

平成17年には東部地域救急フェスタが蓮田市で行われたことにより、約500人もの方々がフェスタに参加し、心肺蘇生法やAEDの使用法を学ばれました。

今後も市民一人一人が応急手当の重要性を理解し、技術を覚えていただくように応急手当普及啓発活動を図っていきます。

# 救 助



# 1. 救助活動状況

救助活動とは、災害に因り生命または身体に危険が及んでおり、かつ、自らその危険を排除することのできない者について、その危険を排除し又は安全な状況に救出することを目的としています。

そのため当消防本部に於いても、少ない資機材の中でよりの確且つ効率よく救助活動できるよう日々精進しているところであります。

## 救助活動状況

平成17年中

区分 事故種別		出動件数	活動件数	出動人員	活動人員	救助人数
火災	建物	1	1	3	3	
	建物以外					
交通事故		13	11	38	32	11
水難事故		1	1	3	3	1
風水害等自然災害		2	2	6	6	11
機械による事故		1	1	3	3	1
建物などによる事故		3	3	9	9	3
ガス及び酸欠事故						
破裂事故						
その他の事故		5	5	14	11	5
計		26	24	76	67	32

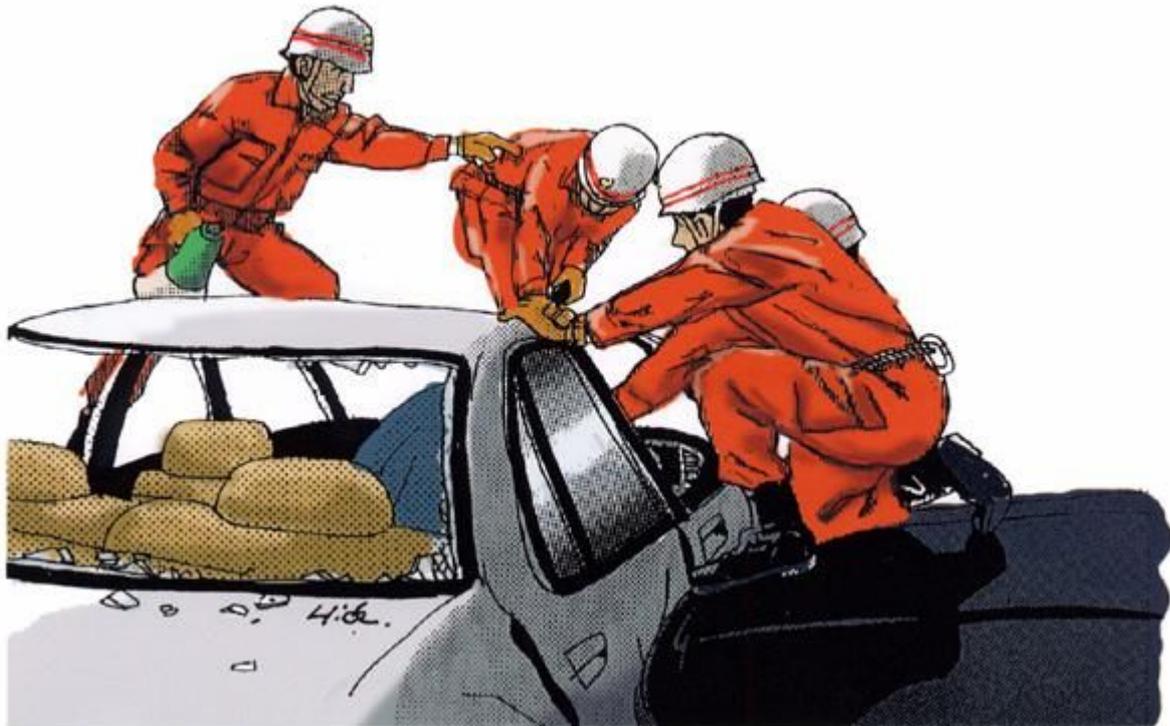




4. 事故種別・発生場所別救助人員状況

平成17年中

事故種別 発生場所		火災	交通事故	水難事故	水害等	自然災害風	事故	機械による	る事故	建物等によ	欠事故	ガス及び酸	破裂事故	故	その他の事	合
屋内	住居				5	1	3							1		10
	その他の屋内													1		1
屋	道路	高速自動車国路														
		その他の道路		1 1		6									1	18
外	水面	内水面			1											1
		外水面														
	山岳															
	その他の屋外													2		2
	地 下															
	そ の 他															
	計		1 1	1	1 1	1	3							5		32



# 消防団



## ☆ 消防団

現在蓮田市消防団は、市内在住及び在勤の郷土愛溢れる 141 名によって 1 本部 6 ヶ分団で構成されています。消防団員は消防職員と異なり、消防以外に仕事を有しているため、火災発生の際には自分の仕事を中断して現場に出動しますし、夜間の就寝中でもサイレンの音で飛び起き、火災現場に駆け付け、消防職員と協力して消火作業に従事します。

消防団員は、皆さんの生命・財産を火災から保護することだけではなく台風や集中豪雨などの風水害や地震等にも出動し、これらの災害による被害の軽減に努めています。

また、災害のないときも、火災予防活動や機械器具の点検・消火栓等の調査などを実施し災害に備え万全を期しています。

### 消防団の主な行事（平成 17 年度）

平成 17 年	4 月	辞令交付式・第 1 回分団長会議 団幹部歓送迎会 消防団第 3 分団詰所完成落成式
	5 月	新入・未講習者団員講習
	6 月	第 1 回本部役員会議 第 2 回分団長会議
	7 月	消防団幹部県外研修 非常招集訓練（閩戸地内）
	8 月	消防団員健康診断 第 3 回分団長会議
	9 月	蓮田市総合防災訓練
	10 月	第 2 回本部役員会議 第 4 回分団長会議 消防団員講習会・機関員講習会
	11 月	消防特別点検
	12 月	第 5 回分団長会議 歳末特別警戒
平成 18 年	1 月	消防出初式
	2 月	消防団基礎教育
	3 月	消防団家族慰安会 消防団中級幹部研修（1 泊 2 日） 第 6 回分団長会議

## 消防団構成

平成 18 年 4 月 1 日

分団名	条例数	実員数
団本部	4	4
第 1 分団	26	21
第 2 分団	25	24
第 3 分団	26	23
第 4 分団	25	22
第 5 分団	25	21
第 6 分団	26	26
合計	157	141

※ 6 分団は、7 月に 1 名増を含む。

## 分団詰所所在地

分団名	所在地	建築延べ面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
第 1 分団	東 5 丁目 7 - 2	102.06	393.38
第 2 分団	上 2 丁目 13 - 2	102.06	340.01
第 3 分団	閨戸 3978 - 8	102.06	395.67
第 4 分団	上平野 606 - 3	66.6	92.56
第 5 分団	黒浜 3834 - 2	66.6	114.3
第 6 分団	黒浜 1132 - 2	102.06	248.93

## 在職年数別消防団員数

平成 18 年 4 月 1 日

在職年数 分団別	計	5年未満	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上
			10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	
本部	4				1		3	
第1分団	21	7	2	6	5		1	
第2分団	24	11	5	2	3	3		
第3分団	23	9	10	4				
第4分団	22	8	5	6	3			
第5分団	21	5	3	3	7	3		
第6分団	26	4	5	7	8	2		
合計	141	44	30	28	27	8	4	

※ 6 分団は、7 月に 1 名増を含む。

消防自動車配置状況 (消防団)

平成18年4月1日現在

分団名	車名・型式	ポンプ 会社名	ポンプ級別 型 式	購入年月日
第1分団	いすゞ PB-NKR81N	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H17.3
第2分団	いすゞ KC-NKR71GN	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H10.10
第3分団	いすゞ U-NKR58E2N改	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H4.12
第4分団	いすゞ KK-NKR71GN	ジーエムいちは ら工業(株)	A-2級 ----- CD-I型	H12.3
第5分団	いすゞ KK-NKR71GN	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H14.2
第6分団	いすゞ U-NKR58E2N改	(株)モリタ	A-2級 ----- CD-I型	H4.3

『けさないで あなたの心の 注意の火。』



蓮田市消防本部

平成18年版

編集・発行 蓮田市消防本部 庶務係

〒349-0133

蓮田市閨戸 178 番地の 1

TEL 048-768-0119 (代表)

FAX 048-768-9937